

ミャンマーの平和を創る会 (チィチィキンキン)



ミャンマーに
平和を

クラウドファンディング 最終報告書

- ◆プロジェクト名：「ミャンマー クーデターから2年。人々に食糧、医療、教育そして未来を」
- ◆現地支援活動実施期間：2023/5/15～2023/8/30

2023年8月31日

【ザガイン管区 避難民への食糧/医療支援】

◆プロジェクト 1

- 活動期間 : 2023 年 5 月～6 月
- 活動エリア :
Sarlingyi, Yinmarpin, Maung, ShweBo, ChaungOo, Monywa, Kani,
- 支援対象者 : 上記地域での避難民、医療従事者
- 支援物資 : 食糧品、生活必需品、医薬品/医療器具など
- 支援額 : 150万円
- 支援状況 : 活動終了
- 協力団体 : 国民統一政府(NUG) 人道支援災害対策管理省、
現地医療機関、その他ボランティア3団体

支援の様子（避難所にお米を支給）



支援の様子（避難民に食料費を支援）



支援の様子（避難民に食事を提供）



支援の様子（避難民に食事を提供）



支援の様子（避難民に生活必需品を支給）



支援の様子（避難民のため医薬品を調達）



支援の様子（避難所に医療品を支給）



【マグエ管区 避難民への食糧/医療/教育支援】

◆プロジェクト 2

- 活動期間 : 2023 年 6 月～7 月
- 活動エリア : Saw,Htlin,Gangaw,Chindwin側沿い
- 支援対象者 : 上記エリアにいる避難民、公務員、医療従事者
- 支援物資 : 食糧品、医薬品、教材など
- 支援額 : 200 万円
- 支援状況 : 活動終了
- 協力団体 : 国民統一政府(NUG) 人道支援災害対策管理省、現地医療機関、その他ボランティア団体

支援の様子（子供たちのため井戸を建設）



支援の様子（避難所で食事を提供）



支援の様子（避難所で食事を提供）



支援の様子（避難所に食糧、医薬品を支給）



避難所で教育を受ける子供たち



【シャン州 避難民への食糧/医療支援、寺子屋への教育支援、カレンニ州 避難民への食糧/生活必需品支援、故郷沿い 避難民学校への教育支援】

◆プロジェクト 3

- 活動期間 : 2023 年 6月～7月
- 活動エリア: シャン州ナウンチョ、クン・ヘイン、マイカイ、シポー、パンロンレーチャーなど、カレンニ州ディモーソー、国境沿いメソト
- 支援対象者: 上記地域での避難民、地雷被災者、避難民学校の子供
- 支援物資 : 食糧品、医薬品、建築材、教材、治療のための現金寄付
- 支援額 : 150万円(シャン州100万円、カレンニ州40万円、国境沿い10万円)
- 支援状況 : 活動終了
- 協力団体 : 日本ミャンマー友好協会 (JMFA)※所在地→東京

シヤン州 支援の様子（避難民に食糧、子供たちに文具教材を支援）



シヤン州 支援の様子（地雷被災者に治療費/ 生活費を支援）



カレンニ州 支援の様子（避難民に食糧、子供たちに食事を支援）

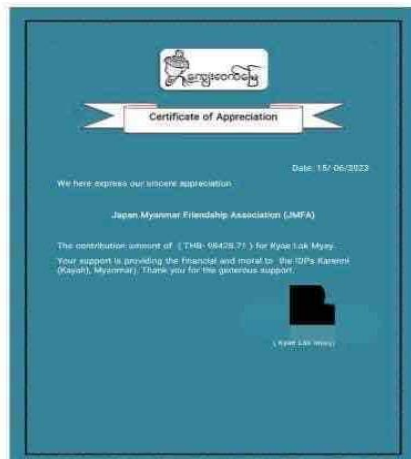
□ 支給品（食糧品）



□ 支給品（食糧品）



寄付証明書



カレンニ州 支援の様子（避難民に食糧、雨季対策防水シートを支援）

□ 支給品(食糧品&防水シート)

2023/6/19



カレンニ州 支援の様子（避難民に食糧を支援）

□ 支給品(食糧品（お米 & 食用油）

2023/6/19



カレンニ州 支援の様子（避難民に食糧を支援）



カレンニ州 支援の様子（避難民に食糧を支援）



国境沿い 支援の様子（避難民学校の建設資材や備品、文具を支援）



【チン州 避難民への食糧/医療/教育支援】

◆プロジェクト 4

- 活動期間 : 2023 年 6 月～7月
- 活動エリア : Tedim,Tonzang
- 支援対象者 : 上記地域での避難民
- 支援物資 : 食糧品、医薬品、教材など
- 支援額 : 30万円
- 支援状況 : 活動終了
- 協力団体 : 在日チンコミュニティ (CYO-Japan)

支援の様子（避難民に食糧費を支援）



支援の様子（医薬品を支援）



支援の様子（教材を支援）



【国内 孤児院への緊急教育支援】

◆プロジェクト5

- 活動期間 : 2023 年 5月
- 活動エリア : 安全面を配慮し非公開
- 支援対象者 : 結核感染し緊急治療が必要な子供たち、建物の老朽化によって学ぶ場を失った子供たち
- 支援物資 : 医療費や建物の修繕費
- 支援額 : 10万円
- 支援状況 : 活動終了
- 協力団体 : NGO SOSIA

支援の様子（老朽化し倒壊した建物の修繕）

建設中の建物

倒壊した建物



【西部 サイクロン・モカ被災者への緊急支援】

◆プロジェクト 6

- 活動期間 : 2023 年 5月
- 活動エリア : 西部ラカイン州を含む被災地域
- 支援対象者 : サイクロン被災者
- 支援物資 : 食糧品、医療品など必要な支援物
- 支援額 : 10万円
- 支援状況 : 活動終了
- 協力団体 : 国民統一政府 (NUG) 駐日代表事務所

サイクロン被災者

NHK NEWS WEB

国際

ミャンマー 大型サイクロン上陸 1か月 被害の全容不明 支援滞る

2023年6月14日 4時56分



【国境沿い ロヒンギャ 難民学校への教育支援】

◆プロジェクト7

- 活動期間 : 2023 年 6 月～7月
- 活動エリア : 故郷沿いバングラデシュ難民キャンプ
- 支援対象者 : 上記地域での教員12名と子供400名
- 支援物資 : 教員12名の2か月分の生活費、設備維持費、文具など
- 支援額 : 40万円
- 支援状況 : 活動終了
- 協力団体 : 在日ビルマロヒンギャ協会

支援の様子（難民キャンプの子供たちに教材を支援）



【国境沿い、避難民学校への教育支援】

◆プロジェクト 8

- 活動期間 : 2023 年 5月～7月
- 活動エリア : タイ国境沿いメソト避難民学校
- 支援対象者 : 上記地域での避難民子供たち
- 支援物資 : 学生寮のベッドや机、椅子の調達費など
- 支援額 : 48万円
- 支援状況 : 活動終了
- 協力団体 : 当会より直接支援

支援の様子（生徒を受け入れるために必要なベッドの資材を調達）



支援の様子（空調設備の調達）



支援の様子（風邪薬を支給）



校長先生から届く感謝状



To

Chit Chit Khin Khin Family (Japan)

We have received a total amount of 95,579 Thai Baht as humanitarian aid from **Chit Chit Khin Khin Family (Japan)** in two different occasions with the amount of 49,700 Thai Baht in the first occasion and with the amount of 45,879 Thai Baht in the second occasion.

New Blood School was established on February 2003 to provide educational opportunities to the children of migrant workers in Thai-Myanmar border. Originally, there were only around 70 students. Year by year the school was progressing, and we could promote our school to higher educational level in 2010. In 2012, joining the educational department of Myanmar ministry of education, we could organize test center for Grade-4 and Grade-8 at our school, and could officially organize and transfer around 1200 students back to Myanmar.

Moreover, around 500 students from our school could sit matriculation back to Myanmar, and around 150 could attend universities in Myanmar, and around 20 students could join international universities in Thailand.

After the coup happened in Myanmar on February 2021, we could not continue matriculation program anymore, and started GED program by the end of 2021. After ten intensive months of studying, all of the 48 students earned their GED diplomas, 48 in December 2022 and 1 in February 2023. GED is

equivalent to U.S and Canadian Grade-12 which mean that our students are now have an opportunity to join international universities with the GED diplomas they have earned.

Due to the coup in Myanmar which has started in 2021, the deterioration of social, economy and education has made many people come to Thailand. The evacuated people has increased day by day in Thailand. The same thing happens in our school as well. The number of students has increased almost doubled, and it is already very difficult for us to take good care of them. Currently, we have the following groups of students.

- (1) Orphans
- (2) War evacuated students
- (3) Students whose parents are in prisons right now
- (4) Students who were released from prisons from 505 act.
- (5) Students who parents are fighting against the SAC or the so-called military
- (6) War evacuated students with their old parents and have financial problems.
- (7) Students whose villages have been burnt down, and have no place to return home.
- (8) Students from IDP camps.

Currently, we have around 200 students at the boarding house (dormitory students). However, there are more number of students than the number of available beds and space in our school. Therefore, we built a new building

of three rooms for girls in which around 70 students can sleep, and now we have built two stored beds with the donation money we received from **Chit Chit Khin Khin Family (Japan)** so we can safely provide them education and shelter to live.

Therefore, we, New Blood School Family, would like to say thank you to every single member of **Chit Chit Khin Khin Family (Japan)** for your humanitarian support for our students.


Mr. Zaw Lwin Oo
(School's Director)
New Blood High School



避難民学校に通う子供たち



【国境沿い 避難民支援】

◆プロジェクト 9

- 活動期間 : 2023 年 6月～8月
- 活動エリア : タイ国境沿い避難民
- 支援対象者 : 上記地域での映像作家チーム
- 支援物資 : ドキュメンタリー制作に必要な経費
- 支援額 : 43,934円
- 支援状況 : 活動終了

ドキュメンタリー作品一部紹介（8月末まで限定公開）



<https://youtu.be/wxT46G176a4>

【カレンニ州・カレン州 避難民への食糧支援 および故郷沿い避難民への自立支援/教育支援、 緊急災害支援】

◆プロジェクト10

- 活動期間：2023 年 5月～7月
- 活動エリア：Lay Kay Kaw,Lokekaw,タイ国境沿い
- 支援対象者：上記地域での避難民、サイクロン被災者
- 支援物資：食糧品、自立プロジェクトの養豚/養殖/織物など、雨季対策グッズ、サイクロン緊急支援物
- 支援額：250万円
- 支援状況：活動終了
- 協力団体：日本ビルマ救援センター（BRCJ）

会計報告

収入		
①クラウドファンディング総支援額		10,592,000
	計 (A)	10,592,000
支出		
②クラウドファンディング手数料 (14%)		1,631,168
現地送金手数料		4,956
促進 - チラシ作成費 (5,000枚) ・ 4 か所発送費		18,002
促進 - 発表会会場使用料 (3 回)		13,940
	計 (B)	1,668,066
	支援予算 (A - B)	8,923,934
支援金使徒		
1.ザガイン管区 避難民への食糧/医療支援		1,500,000
2.マグエ管区 避難民への食糧/医療/教育支援		2,000,000
3.シャン州 カレンニー州 食糧・医療支援/寺子屋への教育支援		1,500,000
4.チン州 避難民への食糧/医療/教育支援		300,000
5.国内 孤児院への緊急教育支援		100,000
6.西部 サイクロン・モカ被災者への緊急支援		100,000
7.国境沿い ロヒンギャ 難民受け入れ学校への教育支援		400,000
8.国境沿い 避難民受け入れ学校への教育支援		480,000
9.国境沿い避難民 (映像作家) 支援		43,934
10.カレンニ州・カレン州 避難民への食糧支援/国境沿い避難民自立支援		2,500,000
	計 (C)	8,923,934
	収支差額【A- (B+C)】	0

ご支援いただきました全額を活用し、現地に届けることができました

現地スタッフよりお礼の言葉

- (1)「物価上昇によりお米や薬など最低限必要な物の調達が以前ほど手に入らない。今回の支援で命が救われている」(マグエ管区ボランティアスタッフ)
- (2)「避難民たちは空爆の度に逃げ回らないといけなかったため、仕事につくことが出来ない。本当に困っている時に食糧、医療を支援してもらえて日本人の皆さんに心から感謝したい」(ザガイン管区ボランティアスタッフ)
- (3)「一番必要な時に必要な物を支援してくれて本当に有り難い。感謝の気持ちでいっぱいです」(ザガイン管区ボランティアスタッフ)
- (4)「お陰で戦鬭で逃れてきた子供たちを受け入れることが出来た。明るい未来に繋げたい」(国境沿い避難民学校 校長先生)
- (5)「資金不足で子供たちが教育を受けるのが困難な状況にある。今回のご支援に心から感謝したい」(ロヒンギャ難民学校経営者)

現状：増加する避難民

ミャンマー国内／国外で避難を強いられる人々



• 192万7200人

2023年7月31日時点での、ミャンマー国内避難民（internally displaced persons: IDPs）の推定人数

• 159万9200人

2021年2月1日以降、新たにミャンマー国内で避難を強いられた人の推定人数

• 9万9500人

2021年2月1日以降、新たにミャンマーから隣国へ逃れた難民の推定人数

• 111万8000人

2022年12月31日時点での、ミャンマーから隣国へ逃れている難民・庇護希望者の人数

国民の1/3 人道支援必要

二年前にクイデータが起きたミャンマーで、人口の三分の一に近約千八百万人が今年、人道支援が必要になる見込みと国連機関が発表した。クイデータ後の国内避難民は、今年一、二月だけで十五万人以上発生し、計百三十万人に上るといふ。避難民や支援者からは、食料、教育、医療などあらゆる面で困難な状況だとして、国際的な援助を強く願う声が聞かれる。（北川成史）

2023年 国連推定

国連人道問題調整事務所（OCHA）の四日の発表によると、今年、同国の人口約五十六百万人のうち人道支援が必要なのは、二〇二二年より三百万人以上増え、千七百六十万人になる見込み。特に地方の紛争地域などには四百五十万人は、より緊急の支援が求められる。支援に必要な額は計七億六千四百万ドル（約一千億円）と見積もる。

二二年二月のクイデータ後、民主派に対し、国軍は空爆を含む弾圧を続け、家を追われた百二十万人の国内避難民がジャングルなどに身を隠しているという。また、世界銀行は、クイデータ後の経済停滞のため、二二年時点で人口の約四割が貧困ライン以下で生活していると見ていた。

最大都市ヤンゴンで建設会社に勤めていた四十代男性は、経営難で解雇された。大学教員だった妻もクイデータにストライキで抗議する市民不服従運動（CDD）に参加した結果、仕事を失った。国軍の弾圧を避けるため、二二年二月下旬、家族で地方に逃れた。これまで地方に逃れた人たちは、友人らから借金して食いつなぎ、約一カ月前に倉庫管理の仕事を得たが、月収は三十万チャット（約二万円）でかつてから半減。小学生の年齢の息子一人は学校に通えずにいる。公立は国軍の管理下であり、私立は学費が高いためだ。

国内避難130万人 民間の力では限界

男性は「村ごと焼き払われたり、連絡が途絶えたりしている友人もいる」と多くの国民の窮状を強調し、「今のミャンマーは食料も教育も医療も不足している」と支援を求めた。

国外に逃れるミャンマー人も絶えない。タイ北部メソットにある移民学校「ニュー・ブラッド・スクール」は、近接するミャンマー出身の幼稚園児から高校生までが学ぶ。約四百五十人だった生徒はクイデータ後、八百人超に急増した。ヤンゴン出身の女子高校生（もとは地方を転々とした末、国境を越え、一月から同校に通う。地方にいる間、がんを患う母は十分な治療を受けられず、死去した。「私だけがひとりで困っているわけではない。困っている多くの若者を助けてほしい」と切望する。学年によって五百〜二千名（約二千〜七千八百名）の授業料を払えない生徒も同校は受け入れ、寮も用意しているが、経営的には厳しい。

2023年国連推定、国連人道問題調整事務所（OCHA）の発表によると、人口の1/3が人道支援を必要とされる。民間の力では限界になっている（東京新聞掲載）

現状：増加する避難民（国外）



現状：森の中で逃げ回る避難民（国内）



ご支援いただき、ありがとうございました！

今後の取り組み

人道支援

空爆や襲撃による避難民、医療従事者、生活困窮者の支援



クラウドファンディング等を活用しながら、継続的に支援を届けています。
また冬場には防寒グッズを送るなどの活動もしています。

留学生／実習生支援

来日したミャンマーからの留学生や実習生の支援



日本での生活はミャンマーと大きく異なり、苦勞することも多いと思います。
周囲に困っている留学生や実習生がいましたら、遠慮なくご相談ください。

就職やビザなどでお困りの方は、右 QR コードを読み取り、Google form に入力ください。
相談時の費用は無料で、随時相談を受け付けております。



相談はこちら

啓発活動

日本の若者に対して人権・人道について考えるきっかけを提供



講演会等の場で「ミャンマーで起きていること」を伝える活動を行なっています。
中学校や高校、大学、市民団体などから依頼をいただき、様々な形で協力しています。

継続寄付募集開始

絵画の展示＆販売

支援物輸送
(雨具や防寒グッズなど)

ドキュメンタリー
制作＆上映

セミナー、講演会
写真展開催

イベントコラボ

ご支援はこちらから

人道支援（食糧支援、教育支援、医療支援）に
使わせていただきます。



◆お振込み口座情報

郵貯銀行からお振込みされる方

銀行名 ゆうちょ銀行

記号1 1 3 1 0 番号0 5 4 9 5 8 7 1

ミャンマーノヘイワツクルカイ(チィチィキンキン)

郵貯銀行以外の銀行からお振込みされる方

銀行名 ゆうちょ銀行

店名 一三八(イチサンハチ)

店番 1 3 8

預金種目 普通預金

口座番号 0 5 4 9 5 8 7

ミャンマーノヘイワツクルカイ(チィチィキンキン)

当会の活動情報掲載サイト

☒ 公式ホームページ

<https://chitchitkhinkhin.org>

☒ Facebook

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100086267839747>

☒ Twitter

<https://twitter.com/Chitkhin2023>

◆ お問い合わせ

✉ Email:kagayakumirai0813@gmail.com

☎ 電話:090-2015-4704

引き続き、よろしくお願いいたします。